

野口さんの、「人新世って知っていますか」に寄せて

2021年2月6日

太田隆次

—地球と人類の時代へ—

このたび野口さんが、「人新世って知っていますか」という文を寄せられました。「人新世」って日常、見かけない言葉ですが、地球の歴史の詮索が好きな私なりの理解を書いて見ました。

1. 「人新世」という言葉はいつ出来た？

「ヒトシンセイ」とも「ジンシンセイ」とも読みます。

英語名は Anthropocene (アントロポセーン) です。1938年頃にこの言葉が生まれ、2020年現在、地質学の国際的な学会や組織で科学的な議論はされては来ましたが、まだ公式な名称とはされていません、

2. 現人類が生きる位置は？

表の一番上の「完新世」です。宇宙は136～7億年前にビッグバンで生まれ、地球は46億年前に生まれて現在に至っているといわれます。

46億年にわたる地球の地質学的研究が進み、現在では下のようによれば戸籍のように世界で統一分類されています。くだいて言えば住所表記のように、私たち人類は地球46億年のうち、「地球新生代第四紀完新世」という現住所に住んでいるわけです。

3. 所が、「完新世」の私達人類が地球を破壊しつつある！

ここまでは宇宙→地球→人類の順に進化してきた宇宙と人類が、あろうことか人類がユ

地質年代 (相対年代)		数値年代	動物界の特徴
新生代	第四紀	完新世	人類の時代
		更新世	
	第三紀	鮮新世	哺乳類の時代
		中新世	
		漸新世	
		始新世	
古第三紀	暁新世		
中生代	白亜紀		恐竜と 爬虫類の時代
	ジュラ紀		
	三疊紀		
古生代	ペルム紀		両生類の時代
	石炭紀		
	デボン紀		魚類の時代
	シルル紀		
	オルドビス紀		三葉虫の時代
	カンブリア紀		
原 生 代			
始 生 代			
先 始 生 代			

一ターンして地球を痛めつけて、遂には地球そのものを消滅させるのではないかと気が付き始めました。

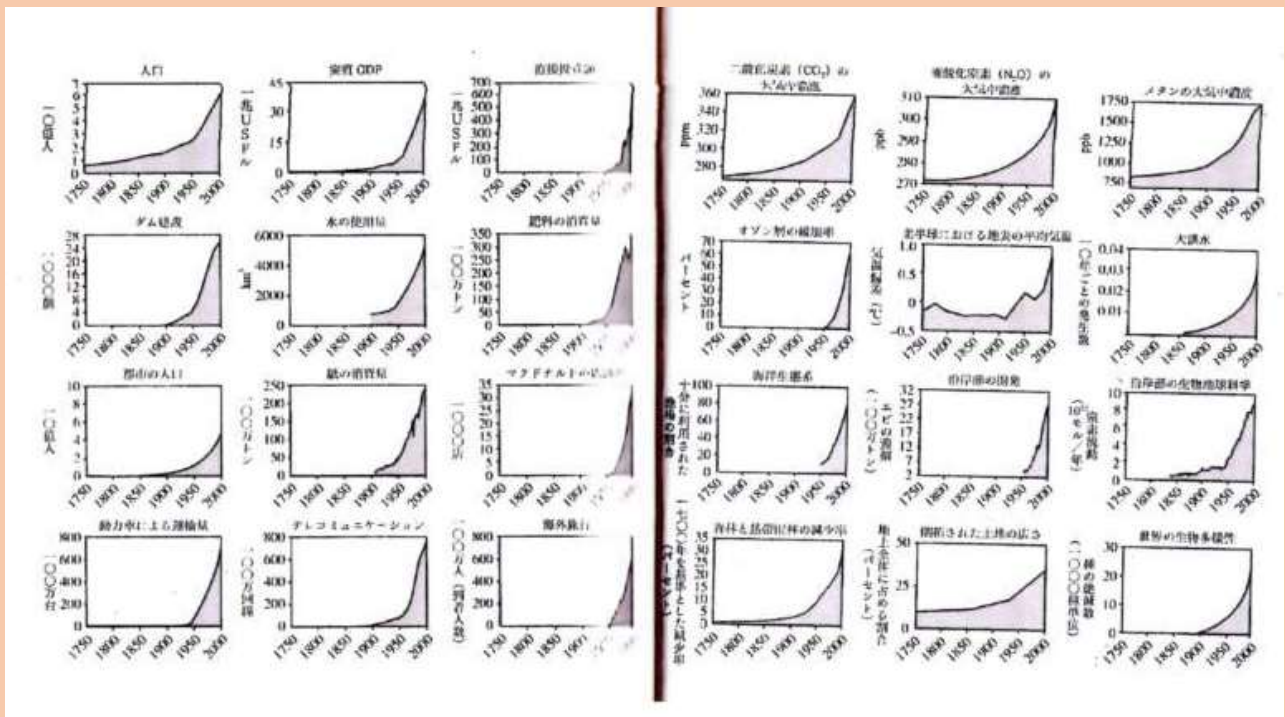
そこで「完新世」を返上して「人新世」にすべきとか、新たに作るべきだという考えが生まれたのです。

地球46億年の歴史の中で、人類の祖先は数百万年以上も前から、私達人間は20万年前からこの地球に抱かれて生きて来ました。所がここに至って、約70億人の人間が何と地球史上はじめて地球に刃を向け始めたのです。何たることでしょうか。

地球温暖化だけでなく、核兵器、貧困化、国家覇権争い、領土争い、エネルギー資源争い、貧富の差の拡大化、人種差別、政治体制の独裁化など、問題は悪化するばかりで、ここに来て人間は、人間自らと地球の両方を破壊し続けています。

図表は代表的な経済活動を24項目選び、1950年頃からの急上昇をマクロに可視化したものです。地球の悲鳴が聞こえます。

このまま放置すれば、人類は進歩するどころか次第に地球と共に破滅の道を歩むことになると思いませんか。



4. ではどうすればいいか。地球と人類を一心同体と関係づけて両者を生かす「人新世」の登場。

その原因は何か、どうすればいいか。まだ決定打はありませんがヒントがあります。

・まず登場するのが「人新世」の考え方です。現在、私たちが生きている「人類に都合のいい」「完新世」の定義を断ち切って、地球と人類の共存するワンセットの「人新世」を創るべきというのです。

・ある人はイギリスの産業革命以降の地球資源使い捨ての成功体験が人間のおごりを生んだからと言います。300年にわたる産業史の見直しを・・・

・ある人は、ガガリーンの「地球は青かった」、月から見た「地球の出」の写真、ISSから送られてくる宇宙からの地球の映像に象徴されるように、「地球と人類」をワンセットで今一度見直すべきと言います。

・資本主義、社会主義、グローバリゼーションなどの「人新世」でのありかた の見直し
(おわり)

参考文献

- | | | |
|-------------------|------------|---------|
| 「人新世」時代の文化人類学 | NHK放送出版 | 2020年発行 |
| 大村敬一他 | | |
| 「人新世とは何か」地球と人類の時代 | 青土社 | 2018年発行 |
| ボネイウ・フレンズ共著 | 野坂しおり訳 | |
| 「人新世の哲学」 | 人文書院 | 2018年発行 |
| 篠原雅武 | | |
| 「人新世の資本論」 | 集英社 | 2020年発行 |
| 斎藤幸平 | | |
| 地球全体年表 | 岩波書店 | 2019年発行 |
| 日本地質学会 | | |
| ウィキペディア | 地質年表、人新世など | |